

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	17HP2004	事業期間	平成29(2017)年度～ 令和3(2021)年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
世界トップクラス学術誌入りを目指した、掲載論文の多様化と質的向上の取組み		公益社団法人 日本油化学会	会長・朝倉 浩一
学術刊行物の名称			(略称)
Journal of Oleo Science			JOS

【令和元(2019)年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
○ A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>Journal of Oleo Science 誌を油脂化学の分野のトップジャーナル誌にすることを最終目標として、(1) アジアでの存在感の向上と、(2) 諸外国からの Journal of Oleo Science 誌への優先的投稿の増加、の二点を主要な目標に掲げた取組である。(1) については、国際会議の開催や編集体制の国際化、国内外の若手研究者の支援等の計画は順調に進んでいる。一方、(2) については中国からの論文掲載数の増加が見られ、投稿総数は増加傾向にあるが、インパクトファクターや PDF ダウンロード数の明確な上昇は現時点では見られず、目標の達成には一層の努力が必要である。トップジャーナルを目指すのであれば、質の向上に繋げるための工夫も必要である。</p>	